



平成21年3月18日

各位

会社名 東邦チタニウム株式会社
代表社名 代表取締役社長 久留嶋 毅
コード番号 5727 (東証第一部)
問合せ先 社長室主席参事 松原 浩
(電話番号 0467-82-2915)

スポンジチタンの減産及び収益改善に向けた諸施策に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通りスポンジチタンの減産及び収益改善に向けた諸施策について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. スポンジチタンの減産等

(1) 理由

世界的な景気低迷により一般工業用及び民生用の需要が減少したことに加え、新型航空機ボーイング787型機の納入遅れをはじめとした航空機需要の縮小によります。

(2) 対応策

①茅ヶ崎工場

生産能力月産1,200t(プロダクトミックス後)を現在約15%減少し、月産1,000t体制としておりますが、平成21年4月1日から当分の間、生産能力に対し40%減少し、月産720t体制といたします。

②若松工場(新スポンジ工場・仮称)

平成21年12月稼働開始を予定していた若松工場については、稼働開始を平成22年4月に4ヶ月延期いたします。

2. 収益改善に向けた諸施策

(1) 理由

平成21年度は、上述したとおり主要製品であるチタン販売量の減少に加え、販売価格の低下により非常に厳しい収益環境となることが見込まれます。このような状況に対処し、以下の通り収益改善に向けた諸施策を実施することといたしました。

(2) 内容

①役員報酬の削減

本年1月から、取締役、執行役員等の報酬を5~10%削減しておりますが、4月からは当分の間、10~20%の削減といたします。

②管理職賃金の削減

本年4月から当分の間、管理職賃金の3~4%の削減を実施いたします。

③休業の実施

減産により余剰人員が発生いたしますが、休業によるワークシェアリングを実施し、雇用調整助成金の受給を申請いたします。

④生産効率化、経費削減

生産の一層の効率化に努めるとともに、全社・全部門にわたる徹底した経費削減を図ります。

(3) 効果

上記(2)の実施及び役員・全社員の業績反映賞与に基づく賞与減額等による収益改善総額は、平成21年度において約20億円となる見通しであります。

3. 収益見通し

現在予算の策定作業中ではありますが、現時点で以上の内容を織り込んだ平成21年度の経常利益は10億円程度の赤字となる見通しであります。なお平成21年度の業績予想は平成21年3月期決算短信発表時(平成21年4月30日)にお知らせする予定です。

以上